



プログラムの作成

●コマンドの配置



●コマンドの連結



●矢印の引き直し

矢印を引き直す場合は一度削除して再度連結して下さい



プログラムの転送・実行

●転送

プログラムが完成したら、本体にデータを転送します。 画面上「転送」をクリックします。



転送中は LED が青く点灯します。 データ転送が完了したら、「ピッ」と音が鳴ります。 (転送ができない場合は接続処理を再度行ってから転送して下さい)

●実行

本体に転送したプログラムを実行します。 画面上「実行」をクリックします。





サブルーチン

複雑な機能を持つプログラムを作る時に、機能を小さく分けて作れば、プログラムが理解しやすく、作りやすくなります。

この、「機能を小さく分けた」プログラムの事をサブルーチンと言います。

1度作ったサブルーチンはプログラム内で何度も使う事ができます。



サブルーチンを作るために、「開始(メイン)」コマンドを配置します。 「開始 (メイン)」コマンドをクリックし、パラメータ表示から「開始 (サブルーチン1)」を選択します。 「更新」ボタンを押すと、「開始(サブルーチン1に変わります。



パラメータ表示	
更新	
(開始(メイン) ~	
開始(メイン)	
開始(サブルーチン1)	
開始(サブルーチン2)	
開始(サブルーチン3)	

サブルーチン1を選んで、「更新」ボタンを押す。

サブルーチン1に変わったので、サブルーチンのプログラムを 作成します。

ブラウザへ保存・読み込み

弊社の Web アプリは『ブラウザへの保存』と『ファイルへ保存』の2種類の保存が行えます。

『ブラウザへ保存』『ブラウザから読み込み』の場合

ご利用のブラウザ(Googlechrome、Safari、Microsoft Edge)の

キャッシュメモリーへ、一時的に保存を行えます。

保存したプログラムデータの読み込みに便利ですが、学校環境の設定によりキャッシュ メモリーへの書き込みが禁止されていたり定期的にキャッシュメモリーが消去される 場合があります。設定をご確認の上ご使用ください。

※保存データはファイルのように取り出して使用することはできません。

ブラウザへの保存方法

メニューの『ファイル』をクリックします。



②『ブラウザへ保存』をクリックします。 ③プログラム名を入力し保存します。

_		
<	ブラウザへ保存	\triangleright
	ブラウザから読み込み	
	ファイルへ保存	
	ファイルから読み込み	
	デモ 1 (順次)	1
	デモ 2(順次)	
	デモ3(反復)	
	デモ 4 (分岐)	
	初期プログラム	
	送信済データの読み込み	1
		-

www.hisatomi-app.comの内容					
プログラム名を入力して下さい					
Test					
	ок	キャンセル			

ブラウザから読み込方法

メニューの『ファイル』をクリックします。

②『ブラウザから読み込み』をクリックします。 ③プログラムを選択します。

	ブラウザへ保存]
<	ブラウザから読み込み	\triangleright
	ファイルへ保存	
	ファイルから読み込み	
	デモ1(順次)	
	デモ 2(順次)	
	デモ3(反復)	
	デモ 4 (分岐)	
	初期プログラム	
	送信済データの読み込み	

開きたいプログラ Test	ムを選択して	こください。
		キャンセル



